

第17回久留米オープンデータ活用推進研究会 議事録

日時：令和元年6月27日（木）15：30～

場所：久留米市庁舎3階 307会議室

出席者：(Code for Kurume) 齋藤会員

(久留米 ICT 組合) 中村副会長、安河内会員、足立会員、時里会員、森田会員、
井手会員、中川会員、近藤会員

(高等教育機関) 原田会長、松下会員、佐塚会員、山田会員、加藤会員

(久留米市) 星野会員

事務局：出利葉、中村（貴）、池神

議事次第

1. 各団体からの報告
2. 2019年度の取組について
3. その他

議事要旨

1. 各団体からの報告

(1) 久留米市

公開データセット数や他自治体（久留米広域連携中枢都市圏、九州オープンデータ推進会議）等との連携について報告を行う。

(質疑なし)

(2) 久留米 ICT 組合

組合会の活動について報告を行う。

(質疑なし)

2. 2019年度の取組について

事務局より説明。

〈会 長〉アーバンデータチャレンジの取り組みについて説明して欲しい。

〈会 員〉アーバンデータチャレンジについては、去年から Code for Fukuoka と Code for Kurume と共同で取り組んでいる。

昨年から福岡市と Code for Fukuoka は子育てについて取り組んでおり、そのことから Code for Kurume では子どもの貧困、孤食や子ども食堂等についてオープンデータを利用した取り組みを検討している。さらに、高齢化に伴う事故等からその解決に向けても取り組みができないか検討中である。

〈会 長〉今年の取組みは、Code for Kurume からアーバンデータチャレンジで先ほどの2つのテーマに取り組みを進めていくか、または、あるいはその2つを含めたかたちで、更に幅広く取り組みを行っていくのか。

〈会 長〉子ども食堂等については、どのように取り組んでいくのか。取り組んでいる NPO 団体があるのではないかな。

〈会 員〉NPO 団体側からは、開催場所やボランティアの募集等関心のある人から意見はある。利用者側からは、子ども食堂開催場所等の情報を必要としている。そこにオープンデータ等のデータを利用することで何かできないかと思っている。

〈会 長〉久留米市では、NPO 団体の情報を持っているのか。

〈事務局〉HP で NPO 法人の情報を公開している。

〈会 員〉久留米市では、子ども食堂に関する補助金を交付しているのか。

〈事務局〉子ども食堂の運営に関しては、必要経費は助成するとしている。それに関するデータを公開できるか不明だが、検討していきたい。

〈会 長〉後は、統計データを利用することになると思うが、デリケートな問題であるため、取扱いに注意が必要になると思う。

〈会 長〉Code for Kurume で情報収集を進めていき、アーバンデータチャレンジで提案するという形で進めていきたい。

〈会 員〉運転免許書の取得状況や、事故の状況等のデータは、久留米警察署から取得する必要があるのか。

〈事務局〉福岡県警のオープンデータでは、年齢層や緯度・経度情報、発生年月日等は掲載している。

〈会 員〉アーバンデータチャレンジの応募が、2つ以上のアイデアを提出することが条件となっている。

〈会 員〉前は、何チームで応募したのか。

〈会 員〉4チームである。

〈会 員〉取り組んでいるテーマは面白いと言われている。

〈会 員〉前はどのような内容で応募したのか。

〈会 員〉前は「町おこし」がテーマであった。学生チームの「久留米をもっと目立た

せたい」という内容等で提出したと思う。

〈会 員〉研究会の中に、もっと学生を取り込みながら進めていくと面白いと思う。

3. その他

〈事務局〉九州オープンデータ推進会議12回会議では、BODIK オープンデータアプリケーション(ODAP)として、多数のユーザーが利用する SNS ツール向けにアプリを開発しているとのこと、8月頃にソースを公開する予定とのことであった。

〈会 長〉次回の研究会はいつぐらいになるか。

〈事務局〉9月頃を予定している。

〈会 長〉アーバンデータチャレンジやオープンデータデイはいつぐらいか。

〈事務局〉アーバンデータチャレンジはエントリーが12月下旬にあり、1月末までにテーマを提出する。1次審査を通過したら2月に発表がある。オープンデータデイは3月の第1週を予定している。

以上